

全国の路地関係者が集結するまちづくりサミットが、
北海道・東北で初開催!!

全国路地サミット 2019

in 八戸



「愛される横丁・路地のロジック」

横丁を活かしたまちづくり、全国各地の事例紹介、まち歩き、
数万人の来客を生む巨大朝市の見学など、
八戸市の路地及び横丁の魅力を発信!

令和元年 **10月5日(土)・6日(日)**

開催場所

八戸まちなか広場 マチニワ、中心街各所、市内沿岸部 (エクスカーション)

10月5日(土) ●中心街まち歩き●基調講演●パネルディスカッション

6日(日) ●八戸市内ツアー
(館鼻岸壁朝市・三陸復興国立公園種差海岸・中心街など)



主催 全国路地サミット2019 in 八戸実行委員会、全国路地のまち連絡協議会

構成団体 八戸横丁連合協議会、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、(一財) VISITはちのへ、(株)まちづくり八戸、八戸市

全国路地サミット2019 in 八戸

愛される横丁

路地のロジック



中心市街地に張り巡らされた毎夜にぎわいを見せる8つの横丁。通り一本を境に昼の町と夜の町が近接する八戸のまちなかは、「まち」と「まち歩き」を楽しむ人にはたまらない、迷宮のような世界が広がっています。

ディープなまち八戸の魅力は、吉田類、太田和彦、ラズウェル細木といった“酒場”を愛する方々をはじめ、様々なメディアで続々と取り上げられています。

一方で、三陸海岸の風光明媚な自然と美食、美酒に溢れたこのまちは、毎週数万人の来客で溢れかえる日本最大規模の「館鼻岸壁日曜朝市」をはじめ、市内9か所の朝市が営まれ、銭湯も豊富。横丁、朝市、朝風呂と「夜遅く、朝早い」眠らないまち八戸で、路地・小路の魅力と横丁文化を活かしたまちづくりについて語り合ってみませんか。

プログラム

10月5日(土)

- 13:00 受付
 13:30~14:30 中心街まち歩き
 Aコース 中心街路地・横丁を中心に
 Bコース はっち・マチニワ・ブックセンターなど

- 14:45 シンポジウム
 14:50 基調講演

講師：東京大学名誉教授 西村 幸夫 氏
 「路地の問いかけもの」



都市景観・街並みに関する研究の第一人者。1952年福岡県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。明治大学助手、東京大学教授を経て、2017年より現職。工学博士。全国路地のまち連絡協議会顧問。

著書に『都市保全計画』（東京大学出版会）、『西村幸夫都市論ノート』（鹿島出版会）、『路地からのまちづくり』（共編著、学芸出版社）、『日本の風景計画』（共編著、学芸出版社）、『都市の風景計画』（共編著、学芸出版社）など。



©makitakemoto

- 15:30 パネルディスカッション
 コーディネーター：弘前大学 教授 北原 啓司 氏
 ●事例紹介者 兼パネリスト
 ①日置 圭子 氏（東京・神楽坂）
 ②村上 陽心 氏（青森・黒石）
 ③田村 昌弘 氏（北海道・函館）
 ●地元パネリスト
 ④今川 和佳子 氏（八戸）
 ⑤月館 裕二（八戸）

- 17:15~19:00 懇親会 THIRD PLACE (サードプレイス)
 (会費=3,500円)

- 19:00~ 酔っ払いに愛を「横丁オンリーシアター」自由観覧・参加
 ※チケット1,500円（1ドリンク、3公演付）
 ※無料で観覧できる路上パフォーマンスもあります

【全国路地サミット申込先】

全国路地サミット2019 in 八戸実行委員会事務局
 Fax : 0178-29-0818
 Mail : rojisummit.hachinohe@gmail.com
 お問い合わせ先 電話 : 090-7714-9571

10月6日(日) 市内視察 (大型バス) 参加料: 1,000円

- 7:00 はっち前集合
 7:10 出発
 7:25 館鼻岸壁朝市着 (毎週日曜数万人が集まる全国屈指の巨大朝市) 自由見学、朝食
 8:45 バス集合
 8:50 館鼻岸壁朝市発
 9:05 葦毛崎展望台着 三陸復興国立公園の北端ガイド 葦毛崎から大須賀海岸手前まで遊歩 (種差海岸ボランティアガイドクラブ) 雨天の場合はバス移動
 9:40 大須賀海岸手前でバス乗車
 10:00 環境省 種差海岸インフォメーションセンター 種差天然芝生地
 10:50 種差天然芝生地出発
 →11:40 八食センター
 →11:55 八戸駅
 →12:20 中心街 希望場所で降車
 ※ご希望の方には前日のBコースと同内容のツアーを 13:30~実施いたします。



©makitakemoto

パネルディスカッション参加者



弘前大学大学院地域社会研究科長、教育学部教授
 北原 啓司 氏

東北をはじめ全国のまちづくりの現場を支援され、第5回総研清水康夫賞を受賞。八戸にも縁深い専門家。

だいまん路地裏探偵団主宰、函館西部地区バル街運営

田村 昌弘 氏 (北海道函館市)
 まちあるきを通じ観光都市函館の一步踏み込んだ魅力を発信する函館の食を通じたまちづくりの中心人物。

NPO法人 粋なまちづくり倶楽部 副理事長

日置 圭子 氏 (東京都・神楽坂)
 個性豊かな和の風情が息づく神楽坂のまちづくりとともに、全国の“粋なまち”を支援する取り組みを続ける。

酔っ払いに愛をディレクター・合同会社プロア代表

今川 和佳子 氏 (八戸市)
 はっち初代コーディネーターの一人。「酔っ払いに愛を」「三陸国際芸術祭」などアートプロジェクトに携わる。

NPO法人 横町十文字まちそだて会 理事長

村上 陽心 氏 (青森県黒石市)
 伝建地区「こみせ通り」や近接地区をエリアに、まちを守りながら新たな発想で育てていく取組に邁進。

全国路地サミット2019 in 八戸実行委員長 八戸横丁連絡協議会事務局長

月館 裕二 氏 (八戸市)
 八戸での横丁に関わる様々な企画に携わる。長く横丁を見つめてきた八戸のマスター横丁。